



## 1年間の運動への結集お疲れさまでした。 英気を養って2018年の闘いに備えよう！

今年は、安倍政権による労働者・国民を犠牲にした政策が、米国のトランプ新大統領の登場で加速し労働者・国民の生活といのちが一層脅かされてきました。

こうした情勢にあって、建交労運動に結集し奮闘された組合員と支部執行委員のみなさんに心から敬意を表します。神奈川県南支部は建交労の方針に結集し、全組合員参加の運動構築を基本にすえ、職場要求の実現と国民的課題での闘争強化をはかるとともに支部が最重点課題と位置付けた強大な組織建設を全力で追求してきました。

そのなかで組織拡大では飛躍をつくり出すことはできませんでしたが、勤労者通信大学・憲法コース、建交労パワーアップ試験、全労連わくわく講座をはじめ学習活動を重視し組織の強化・人材育成を追求してきました。また、支部執行委員会では新たに川崎駅前での街頭宣伝・署名行動にも挑戦し意欲的な行動を展開してきました。

今日1年の幕を閉じますが、休日に英気を養って2018年の闘いに備えましょう。

## 春闘アンケート・署名活動の到達点を踏まえ 年明け早々から支部目標の達成をめざそう！

神奈川県南支部の2017年度の春闘アンケートと各種署名の到達点は12月31日時点で下表のとおりです。春闘アンケートの集約数はほぼ組合員数にとどまり目標の1000人集約を大きく下回っています。各種署名のとりくみも立ち遅れており、年明け早々からこれまでの遅れを取り戻す運動を全分会・全組合員で追求しましょう。

	2018年春闘アンケート				各種署名						
	トラック職場	一般パート	トラック経営	アンケート合計	トラック個人署名	トラック団体署名	ヒパクシャが求める核廃絶署名	9条改悪反対3000万署名	過労死と差別根絶を求める署名	生公連署名	社会保障拡充署名
① 内外液輸	12			12	30		29	10	10		5
② 福岡運輸	1			1			5		5		
③ 田中製菓		13		13	5	1	61	5		5	
④ イワサワ	15			15			3	5			
⑤ 東進産業	8			8			10		4		
⑥ 中日臨海	5			5	10	1		10	10	5	5
⑦ 高橋運輸	4	4		8	5	1	9	17	9		5
⑧ 日酸運輸	13			13							
⑩ 扶桑運輸							2	6	5		
⑫ アズマインター											
⑬ 三昭運輸	10	4		14	10	1	25	15	25		
⑭ ギオン	1			1		1	3			5	5
⑮ 合同分会	1	1		2	5	1	33	27	25	5	
⑯ その他						4	5				
⑰ 県南支部	1			1	67	1	27				
合計	71	22		93	132	11	212	95	93	20	20



# 被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、 核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、 すべての国に求めます。



人類は今、破滅への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人びとを無差別に殺傷しました。真っ黒に焦げ炭になった屍、ずるむけのからだ、無言で歩きつづける人びとの列。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていきました。70年が過ぎた今も後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、私たちは生きぬいてきました。もうこんなことは、たくさんです。

沈黙を強いられていた被爆者が、被爆から11年後の1956年8月に長崎に集まり、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）を結成しました。そこで「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつづけてきました。被爆者の心からの叫びです。

しかし、地球上では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のない人びとが命を奪われています。核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。現存する1万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍にもおよびます。核兵器は、人類はもとより地球上に存在するすべての生命を断ち切り、環境を破壊し、地球を死の星にする悪魔の兵器です。

人類は、生物兵器、化学兵器について、使用、開発、生産、保有を条約、議定書などで禁じて来ましたが、それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか。被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたとあなたの家族、すべての人びとを絶対に被爆者にしてはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

2016年4月

よびかけ被爆者代表：坪井直、谷口稜曄、岩佐幹三（以上、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）・代表委員）、田中熙巳（日本被団協・事務局長）、郭貴勲（韓国原爆被害者協会・名誉会長）、向井司（北米原爆被害者の会・会長）、森田隆（ブラジル被爆者平和協会・会長）、サーロー・セツコ（カナダ在住）、山下泰昭（メキシコ在住）

## 私は被爆者の訴えに賛同して署名します

名前	住所	募金

ご記入いただいたお名前や住所など個人情報は、この要請目的以外には使用しません。みなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

【取扱団体】

# 原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 ☎03-5842-6031